



未来を変える  
企業を応援したい

京都信用金庫はフューチャーベンチャーキャピタル株式会社(FVC)と共同で、  
地域にイノベーションを起こす企業を対象に、融資ではなく投資で資金支援を行う  
「京信イノベーションCファンド」を2018年に設立しました。

# その想いに 追い風を

京信イノベーションCファンドに携わっている当金庫の職員に、ファンドにかける想いを聞きました



京都信用金庫 価値創造統括部

まつ おか しゅう た

## 松岡 修太

融資業務、個人・法人営業活動を経て現在FVCに出向中。現段階では、京信イノベーションCファンドはベンチャー企業への投資が中心となっているが、今後は様々なステージの企業にも展開していきたいと考えている。

京都信用金庫 価値創造統括部

くに もと たけ ひろ

## 国本 丈弘

法人営業の経験を活かし、京信イノベーションCファンドの投資担当者として、2018年から1年間FVCに出向。投資先案件の発掘、投資契約、その後のフォローまでをトータルでサポートしてきた。

### 特集

## 京信 イノベーションCファンド

### このファンドについて教えてください。

**国本** 京信イノベーションCファンドは、世の中の社会課題に挑戦する起業家に投資という形で資金を供給しています。2018年に京都信用金庫とフューチャーベンチャーキャピタル株式会社(FVC)様が共同で設立し、運営しています。このファンドでは事業としては未完成でも、地域社会をより良くするためのビジネスモデルを掲げる起業家を応援しています。ファンドの設立から2年、これまでに16社への投資を行いました。

**松岡** 投資した後は、その投資先の株主として経営にも参加し、事業の成功に向けた支援、経営アドバイスやビジネスマッチングなどのいわゆる「本業支援」を行っています。

### どんな企業に投資していますか？

**松岡** 今回で紹介する企業のほかに、農業、漁業、モノづくり、ライフサイエンスなど様々な分野の企業に投資しています。いずれの企業も独創的な技術やサービス、ビジネスモデルをお持ちで、地域にイノベーションを起こす可能性を秘めた事業をされています。

**国本** 投資担当者としてこれまで、投資先すべての起業家の方とお会いしています。どの方も「世の中を良くしたい！」という熱い想いを持って事業に取り組みされており、皆様に広く知っていただきたい方ばかりです。

### ファンドにかける想いは？

**松岡** 当金庫は直接金融への挑戦としてこのファンドを設立しました。その挑戦が成功するかどうかは、当金庫が地域の皆様からより良い金融機関になったと思っただけの力で決まると思います。だからこそ、投資先から「投資を受けて良かった」と思っただけのように、しっかりと本業支援を行っていきたいです。

## 株式会社 AIVICK

<https://aivick.co.jp/>

【ソフトウェア開発／健康経営支援社食、宅食事業】  
2005年設立

働く人の健康習慣の改善や、健康づくり環境の発展を目指し、企業向け栄養バランス弁当の宅配を行う。また、AIやビッグデータを活用した「IT」と、「医療」と「食」を結ぶプロジェクトを推進している。

### 一食から地域を元気にしたい

30代で大病を患い、健康の大切さを痛感。周りの人に健康でいてほしいと強く感じたことが事業を始めたきっかけでした。現在、個人の生活環境や体質に合わせた個人最適食の開発に挑戦中です。

京信さんが「食から地域を元気にしたい」という私達の想いに共感してくださり、このファンドをご提案いただいたことを大変嬉しく思います。これからも走り続けていくので、資金面も含めて色んな相談に乗っていただきたいです。



代表取締役 CEO 矢津田 智子様



## 株式会社 人機一体

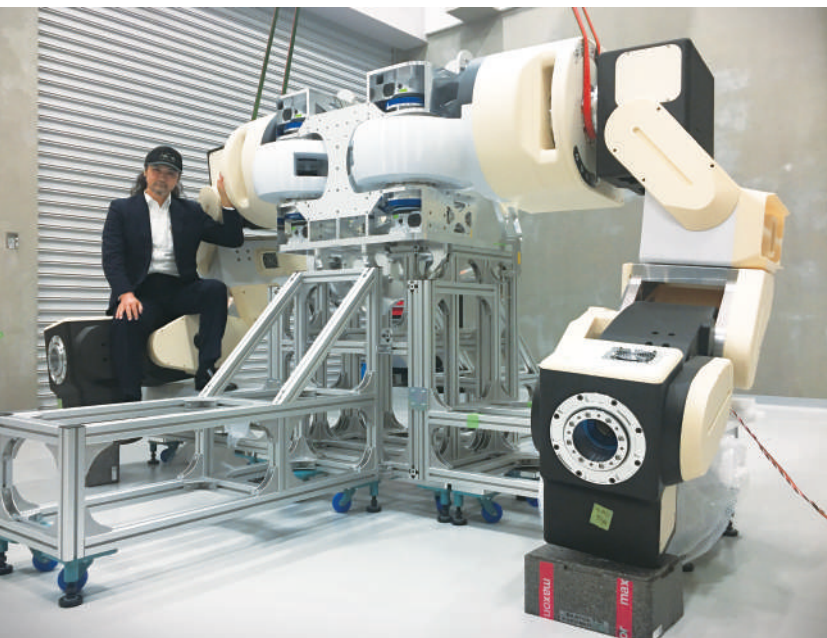
<http://www.jinki.jp/>

【先端ロボット工学技術の社会実装】  
2007年設立

ロボット工学技術により人々が苦役から解放される社会を目指す、立命館大学発のリアルテックスタートアップ企業。シンボルとしての「人型重機」を開発し、ロボット工学技術を広く社会実装することで、企業が抱える中長期的課題解決に尽力する。

### 一地域と世界を繋ぎたい

子供の頃に夢見たロボットアニメの世界の「万能感」と、苦役に喘ぐ現実世界の「無力感」のギャップを、自分が研究してきたロボット工学技術に基づくビジネスで埋めたいと思い、スタートアップに至りました。グローバルに存在感を放ち、地域と世界を繋ぐ役割を果たしたいと考えています。また、地域活性化に向けて活動される京信さんの想いに共感し、投資で資金支援をするということにも好感が持てました。



代表取締役社長 金岡 博士

コロナに負けない!

京都信用金庫は全力で地域の皆様を応援します。

地域の声を  
聞く!

コロナ禍の  
課題を聞く!

## 長岡支店の取組

長岡支店では“アフターコロナアワー”と題し、営業担当の職員が週に二回ほど、地域の課題を知るために皆様の声を聞きに出向く活動を行っています。

「新型コロナウイルス感染拡大の影響で苦しんでいる地域の方を支援したい!」という強い思いを持った職員の提案で始まったこの活動は、補助金・助成金を中心とした情報提供や、コロナ禍における課題などをお聞きすることに専念しています。そしてヒアリングした内容を帰店後に支店全体で共有し、お客様の課題解決に向かって知恵を出し合います。



▲ 地域の声を聞きに出向く職員



▲ 課題解決のために知恵を出し合う職員

こうした日々の活動を続ける中で、「京信さんが熱心に活動されていると聞いて、相談しようと思いました。」と来店されるお客様もいらっしゃいます。今後も当金庫は、新型コロナウイルス感染症対応資金のご相談や、コロナ禍における企業・個人のお客様の支援を継続してまいります。ぜひお気軽にご相談ください。



ATMでのスムーズなお取引を推奨しています。

非対面でお取引いただけるため、新型コロナウイルス感染拡大の防止にも繋がります。

### ご存じですか? ATMでできること。



キャッシュカードで  
ご出金



お通帳の  
繰越



お通帳で  
ご入金



現金(10万円以内)  
キャッシュカードで  
お振込



お振替

※お取引内容によってご利用いただけない場合がございます。



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！  
[Click!](#)